

2024年  
1月

## 県内景況・確報

◎概況 県内景況は、回復している。

●2024年1月 おきぎん「カトレア」景況図●

## 県内景況



やや良い

## 個人消費



やや良い

## 建設関連



ふつう

## 観光関連



やや良い

## 企業倒産



やや良い

## 雇用状況



やや良い

1月の県内景況は、**個人消費関連**では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回りました。百貨店売上高は、前年同月を上回りました。耐久消費財である新車販売台数は、前年同月を下回りました。中古車販売台数は、前年同月を上回りました。

**建設関連**では、公共工事請負金額は前年同月を上回りました。建設資材である生コン、セメントはともに前年同月を下回りました。

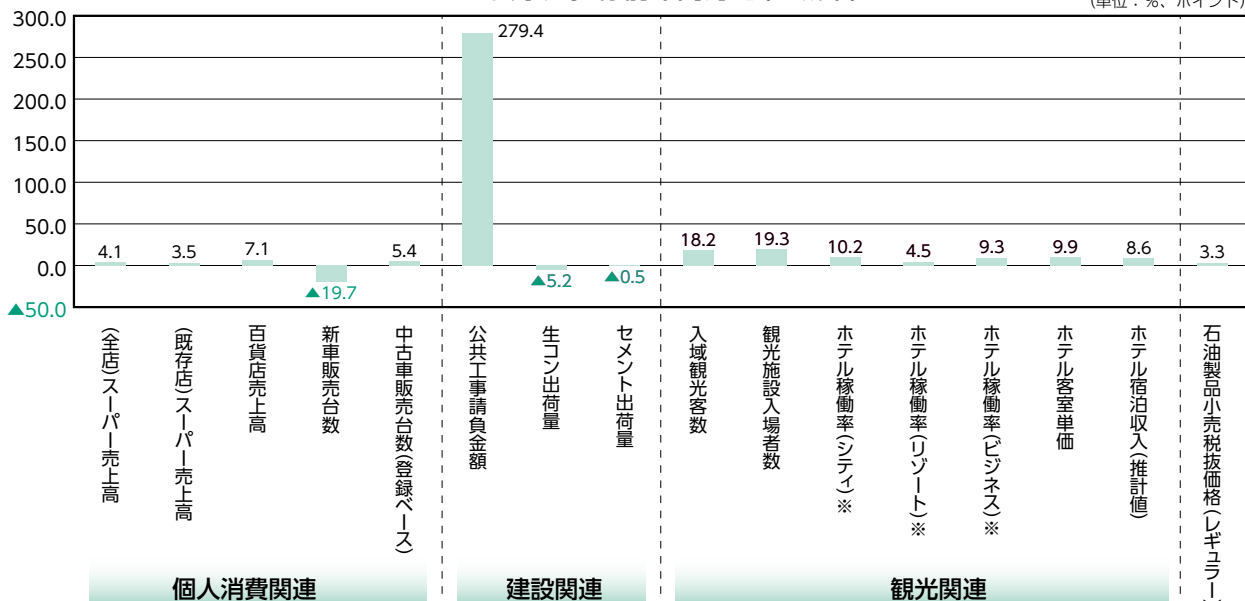
**観光関連**では、入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も前年同月を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルともに前年同月を上回りました。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入（推計値）も前年同月を上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費は、物価高の影響を受けながらも回復しています。建設関連は、概ね堅調に推移しています。観光関連は、団体客や外国人観光客の増加などから回復しています。よって、**「県内景況は、回復している」**と景気判断を据え置きました。

(2023年10月の上方修正から4か月連続で判断維持)

主要景気指標前年同月比(増減率)

(単位：％、ポイント)





# 個人消費



(やや良い)

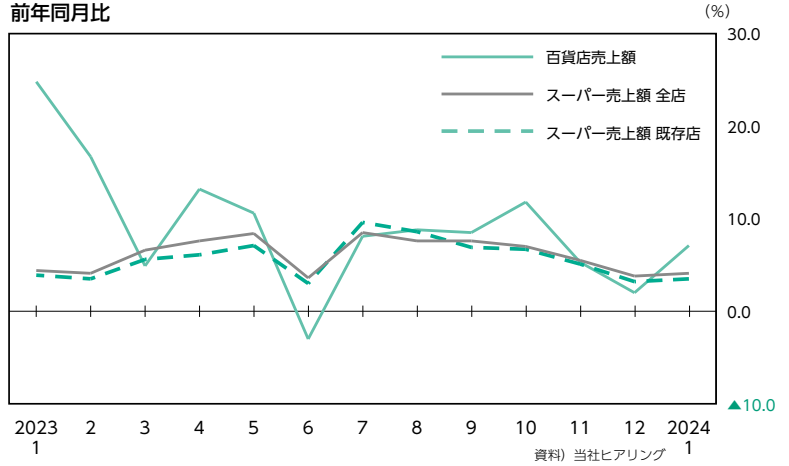
## ① スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回る。百貨店売上高は、前年同月を上回る。

1月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース（前年同月比4.1%増）」は、20ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、「食料品（同3.8%増）」、「衣料品（同5.9%増）」、家電を含む「家庭用品（同6.1%増）」は来店客数増加や物価高による単価上昇などにより前年同月を上回りました。

「既存店ベース（同3.5%増）」は、20ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、「食料品（同3.0%増）」、「衣料品（同5.9%増）」、「家庭用品（同5.4%増）」は、来店客数増加や物価高による単価上昇などにより前年同月を上回りました。

(参考値)コロナ禍以前の2019年同月比では、16.8%増となりました。

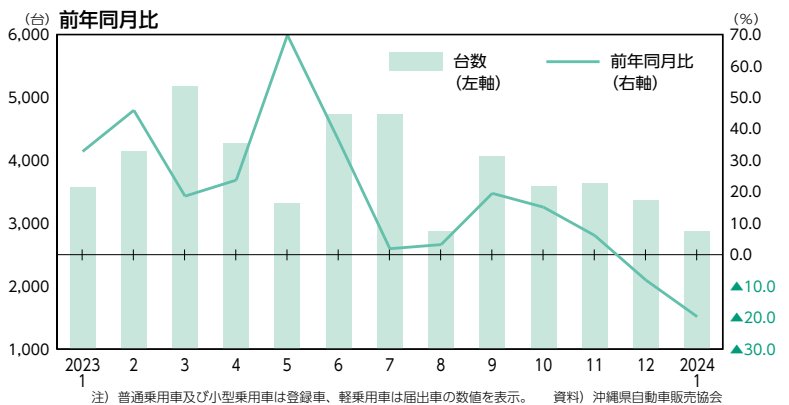
百貨店売上高は、前年同月を上回りました（同7.1%増）。品目別では、ウエイトの高い「食料品（同17.6%増）」は、催事企画の好調等により前年同月を上回りました。「雑貨（同5.7%増）」は、前年同月を上回りました。「衣料品（同0.6%減）」は、気温が高く推移したことなどにより販売が伸び悩み前年同月を下回りました。全体としては6ヵ月連続で前年同月を上回りました。



## ② 新車販売台数…新車販売台数は、前年同月を下回る。

新車販売台数は、全体で2,866台（同19.7%減）となり、2ヵ月連続で前年同月を下回りました。車種別では、「普通乗用車（同5.1%減）」、「小型乗用車（同22.8%減）」はレンタカー台数の減少などにより前年同月を下回りました。「軽乗用車（同25.1%減）」は、一部メーカーの出荷停止による影響などにより前年同月を下回りました。

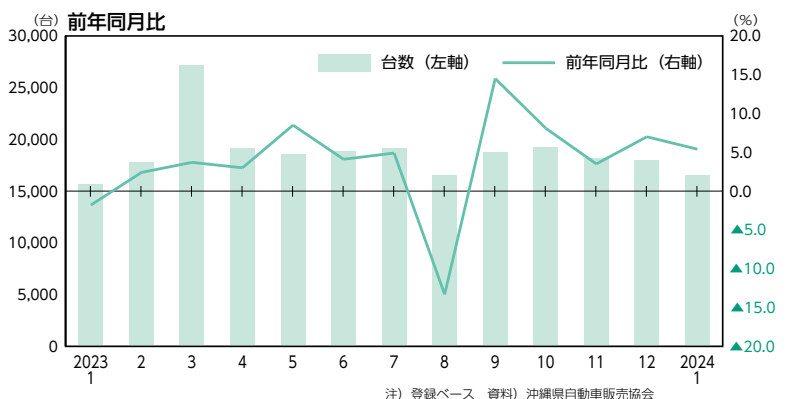
(参考値)コロナ禍以前の2019年同月比では、全体で19.8%減となりました。車種別では、普通乗用車35.2%増、小型乗用車17.7%減、軽乗用車38.3%減となっています。



## ③ 中古車販売台数…中古車販売台数は前年同月を上回る。

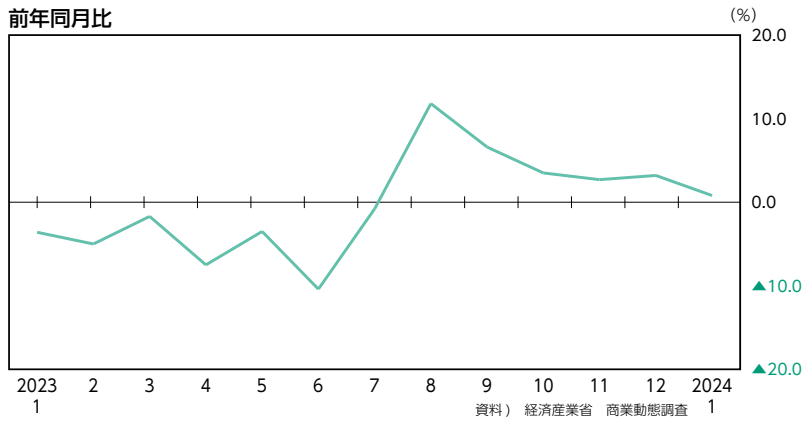
中古車販売台数（登録ベース）は、全体で16,500台（同5.4%増）となり、5ヵ月連続で前年同月を上回りました。車種別では、「乗用車（同7.5%増）」、「軽自動車（同4.2%増）」と前年同月を上回りました。

(参考値)コロナ禍以前の2019年同月比は全体で2.2%増となり、車種別では乗用車2.2%増、軽自動車2.2%増となりました。



## ④ 大型家電専門店販売額…販売額は前年同月を上回る。

1月の大型家電専門店販売額は前年同月を上回りました。



## 建設関連

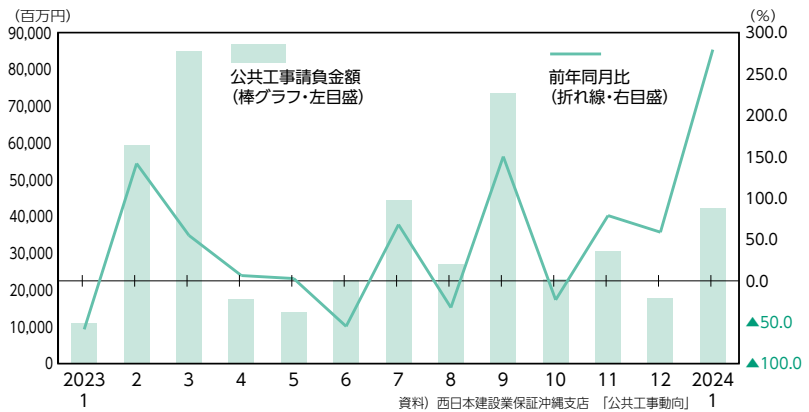


(ふつう)

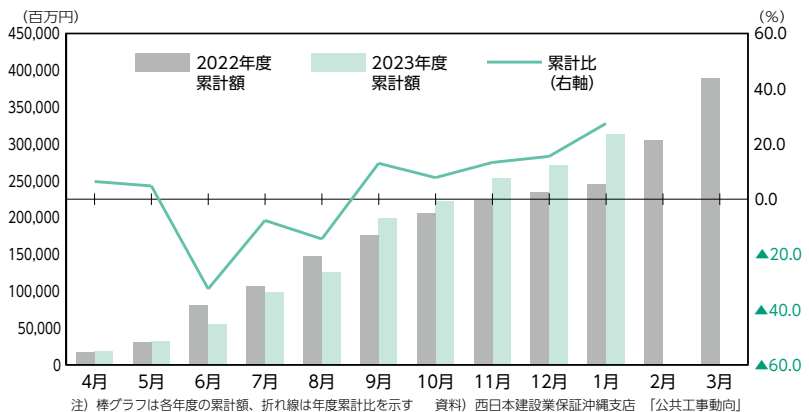
## 公共工事…公共工事請負金額は前年同月を上回る。

1月の公共工事請負金額は、前年同月比279.4%増の421億6,400万円となりました（3ヵ月連続増）。

発注者別でみると、「国（同578.8%増）」、「その他の公共的団体（834.7%増）」、「市町村（同61.4%増）」は前年同月を上回りました。一方、「沖縄県（同51.0%減）」は前年同月を下回りました。



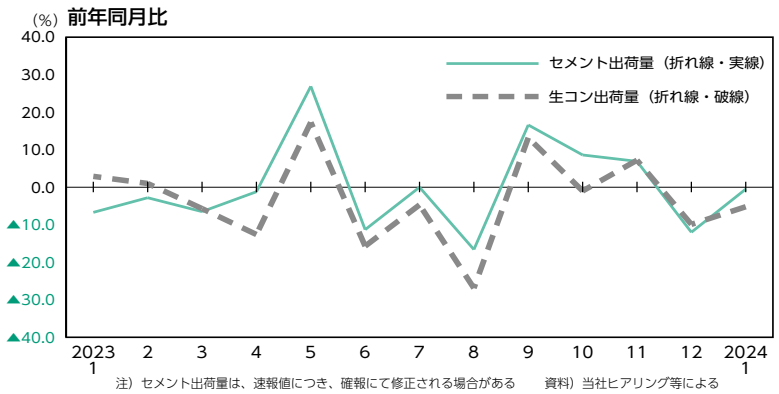
## 【参考】 公共工事(年度累計)…公共工事請負金額は前年同期を上回る。





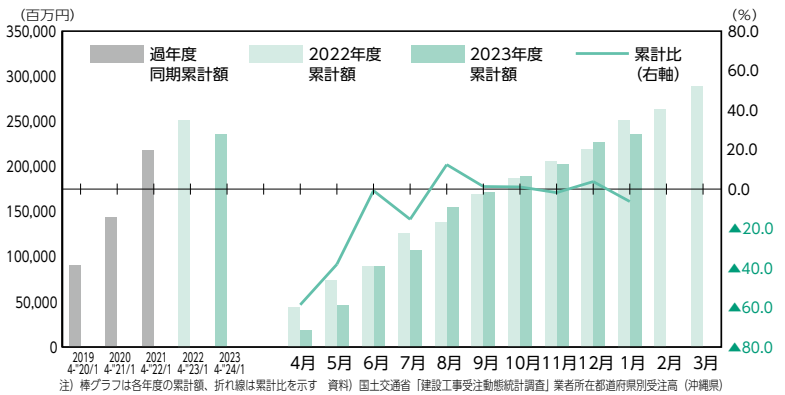
## ② 建設資材…生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

建設資材関連では、生コンの出荷量は5.2%減と2ヵ月連続で前年同月を下回りました。内訳をみると、公共工事向けは中南部地区、石垣地区、宮古地区での出荷が減少したことなどから前年同月を15.0%下回り、一方、民間工事向けは、北部地区での出荷が増加したことなどから前年同月を0.7%上回りました。セメント出荷量は0.5%減と2ヵ月連続で前年同月を下回りました。



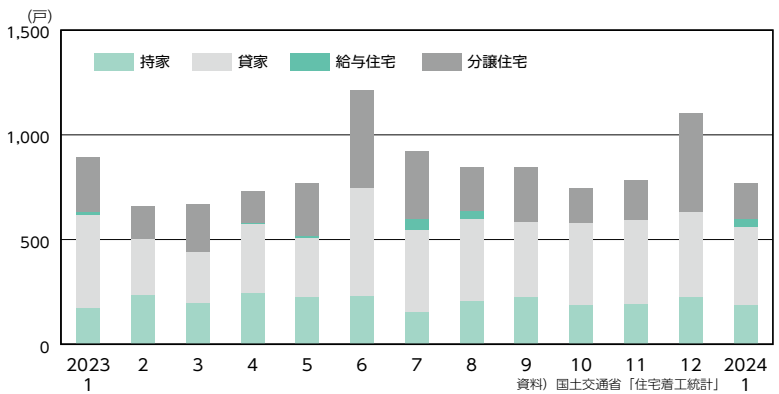
## ③ 【参考】民間等元請受注(年度累計)…前年同期を下回る。

今年度累計値では、6.3%減となっています。



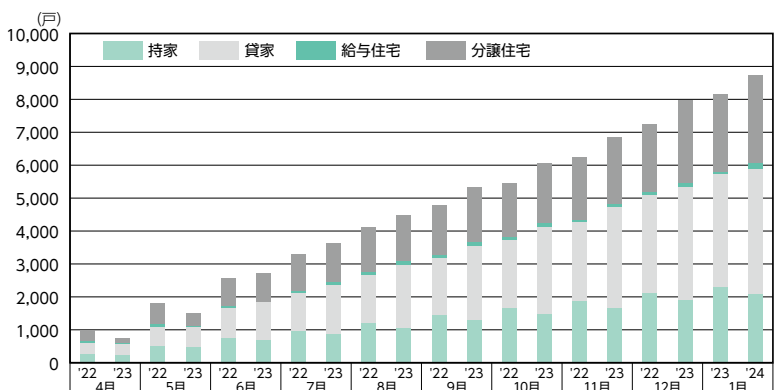
## ④ 住宅投資…着工戸数は前年同月を下回る。

1月の新設住宅着工戸数は、全体で前年同月比14.2%減の768戸となり、8ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。利用別戸数をみると、「分譲住宅(同35.7%減)」、「貸家(同16.9%減)」は前年同月を下回りました。一方、「給与住宅(同272.7%増)」、「持家(同7.5%増)」は前年同月を上回りました。



## 【参考】住宅投資(年度累計)…着工戸数は前年同期を上回る。

今年度累計値では、7.1%増となっています。

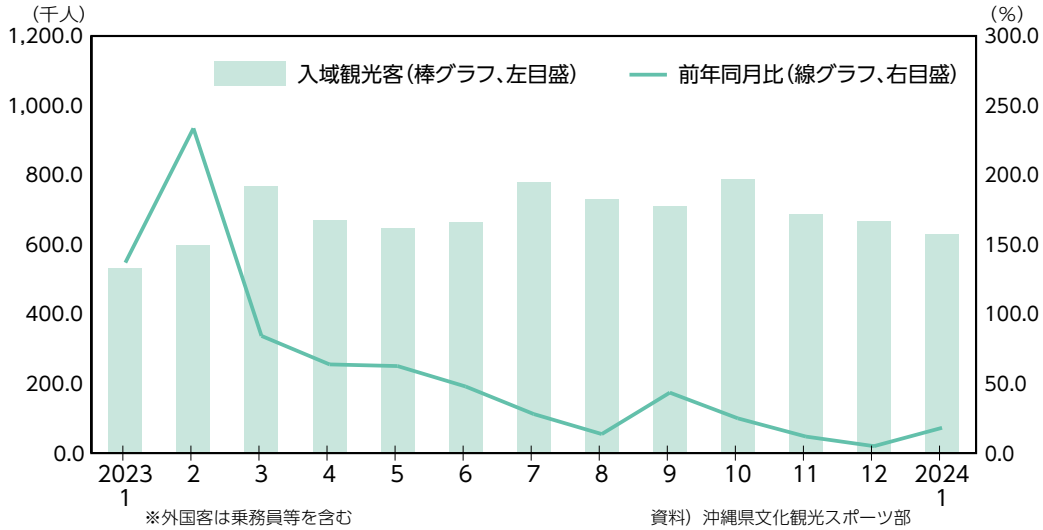


観光関連

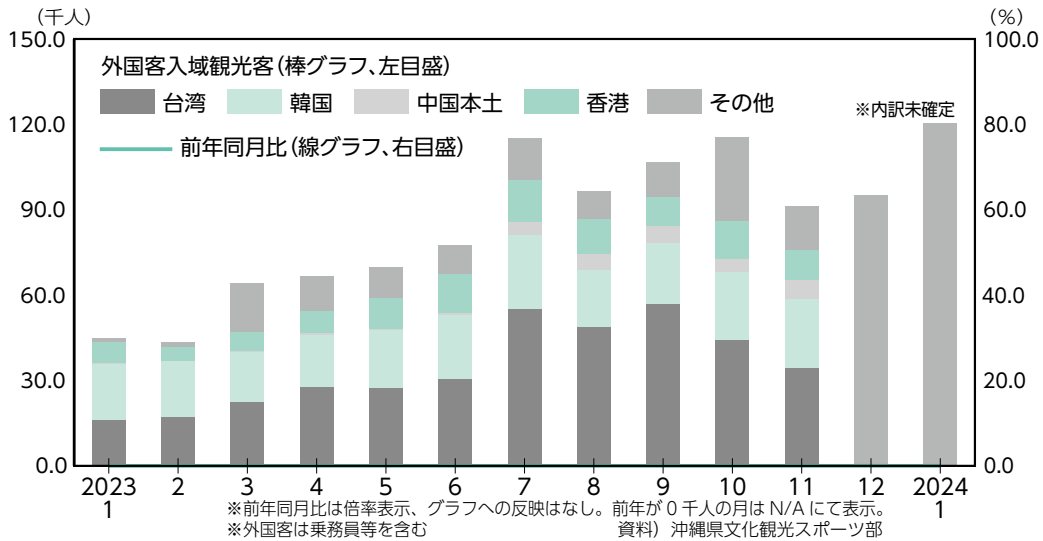


(やや良い)

① 入域観光客数(国内客・外国客の合計)…前年同月を上回る。



外国客 入域観光客数…前年同月を上回る。



1月の入域観光客数は、96,900人多い629,100人(前年同月比18.2%増)となり、26ヵ月連続で前年同月を上回りました。要因として桜まつりやマラソン大会、サッカーキャンプ見学会などの各種イベント開催や、年始・連休に係る航空会社の増便・臨時便などが挙げられます。  
(参考)2019年同月比(国内客・外国客の合計)では、124,400人減少(16.5%減)と下回っています。

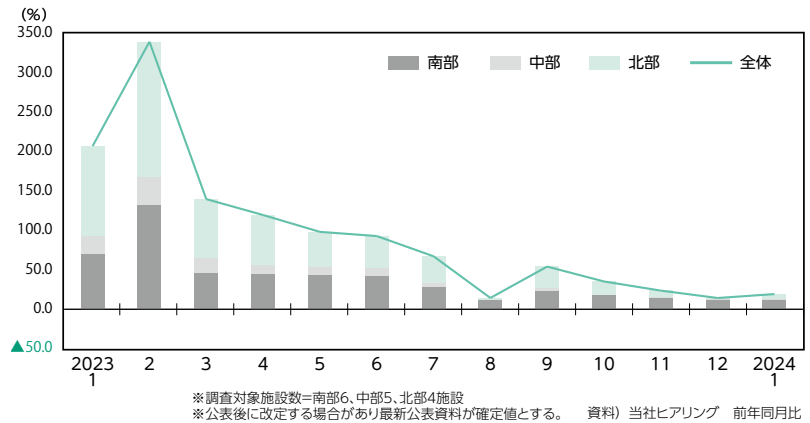
外国客入域観光客数は、120,300人となりました(空路92,800人、海路27,500人)。今後も各路線の運航再開・増便やクルーズ船の寄港などにより、外国客数の緩やかな回復が見込まれています。



## ② 観光施設入場者数…前年同月を上回る。

1月の観光施設入場者数は、団体客や外国人観光客の増加などにより全体では19.3%増となり22ヵ月連続で前年同月を上回りました。地域別では、北部の観光施設は11.8%増、南部は32.7%増、中部は16.3%増となりました。

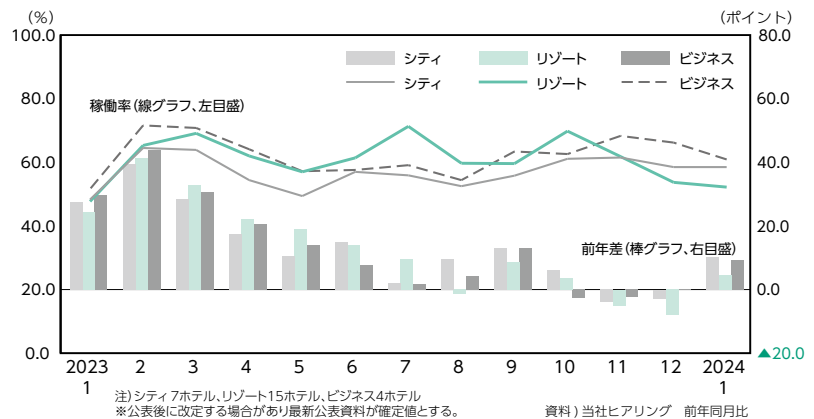
(参考)2019年同月比では、全体で35.7%の減少となりました。内訳では北部の観光施設は28.4%の減少、南部は42.9%の減少、中部は38.8%の減少となっています。



## ③ ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回る。

県内ホテル稼働率は、パッケージツアー等を利用した団体客増加や各種イベントの開催などから、シティホテルは前年同月比10.2ポイント増加、リゾートホテル4.5ポイント増加、ビジネスホテルは9.3ポイント増加しました。

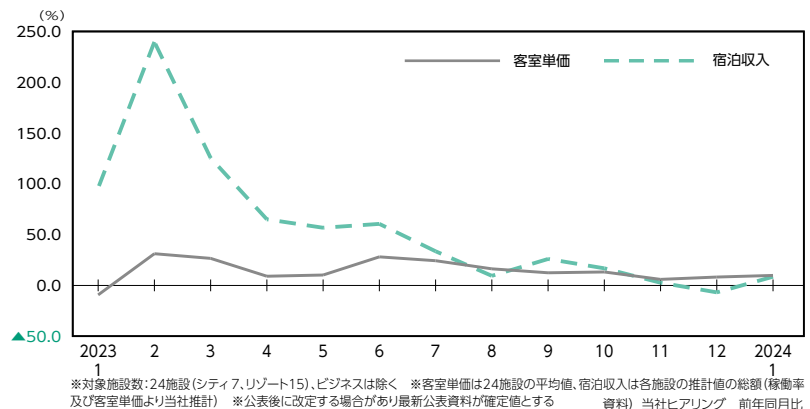
(参考)2019年同月比では、シティホテルは19.2ポイントの減少、リゾートホテルは17.0ポイントの減少、ビジネスホテルは9.1ポイントの減少となっています。



## ④ ホテル客室単価・宿泊収入…ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入も上回る。

ホテル客室単価(シティ&リゾート)は9.9%増と12ヵ月連続で前年同月を上回り、宿泊収入は8.6%増と2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。

(参考)2019年同月比では、客室単価は9.9%の増加、客室収入は20.1%の減少となっています。





企業倒産

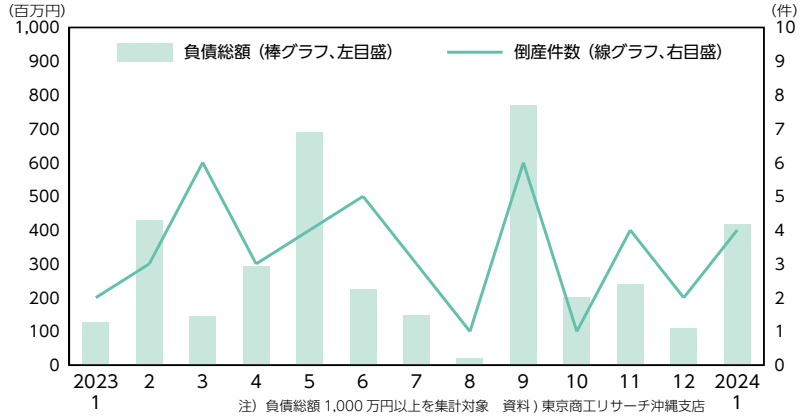


(やや良い)

企業倒産…件数、負債総額はともに前年同月を上回る。

1月の企業倒産件数は4件（うち1億円以上10億円未満の大口倒産は1件）となり、前年同月より100.0%上回りました。

負債総額は4億1,600万円となり、前年同月より225.0%上回りました。



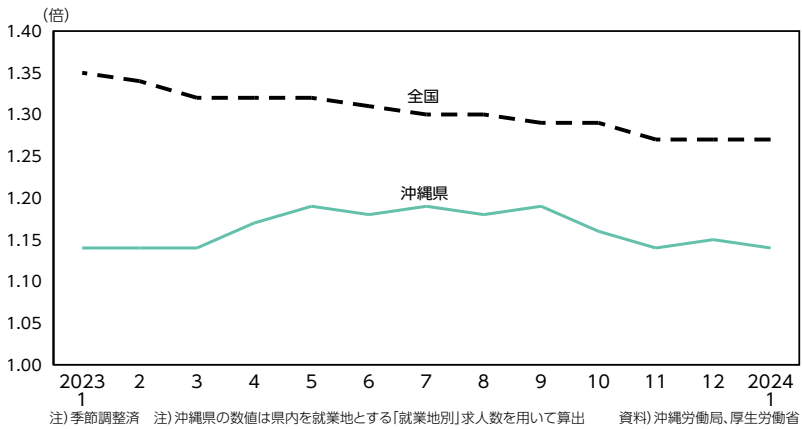
雇用関連



(やや良い)

① 有効求人倍率…沖縄は前月より低下、全国は同水準。

1月の雇用状況は、月間有効求人数（季節調整値）が前月比0.3%減の32,947人に対して、月間有効求職者数（同上）は前月比0.4%増の28,958人となり、有効求人倍率（季節調整値）は1.14倍と、前月より0.01ポイント低下しました。



② 完全失業率…沖縄、全国はともに前月より低下。

1月の完全失業率（季節調整値）は、2.8%となり前月より0.2ポイント低下しました。

